

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		協力会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者	神田 一輝	
作業名称	排水施設補修工	作業手順書	作成年月日	令和5年6月5日	
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	2tトラック、ライトバン、バックホウ、4tユニック		協力会社店社確認	自筆サイン	
			元請確認	自筆サイン	
使用工具 機器 (大きさ太さ等は 具体的な寸法を 記す)	発電機、鏝、ほうき、スコップ、ハンマードリル、ディスクサンダー、のこぎり、石頭ハンマー		改正年月日		
	コンクリートカッター、コンプレッサー(1.56m ³ /min)、プレーカ(21.2kg)				
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、防護メガネ、マスク、手袋、視認性の良い作業着		作業順序		
免許・資格 等 (免)(技)(特)(準 特)の区別を記 す	自動車運転免許証、振動工具(特)、小型車両系建設機械3t未満		1	準備作業	
	技能講習:車両系建設機械・小型移動式クレーン		2	現地確認	
作業人員 (当作業に関わる 役割と人員を全て 記す)	作業責任者 1人、作業員 4人、保安員 1人		3	既存排水溝撤去	
	合計 6名		4	荷下ろし	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和 年 月 日	5	基礎作成
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)			6	コンクリート打設
				7	ます作成
				8	排水溝据え直し
				9	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可 能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
		×○	××	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知					

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミスの発生	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)	朝礼・KYK	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認。夜間工事ルール(回転灯・ハザードの点灯、50km/h規制、料金所で通行券を取ること)の周知							
	作業箇所確認								
	周辺安全確認 (埋設物・構造物)								
現地現場確認	作業箇所確認	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認。工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
	周辺安全確認 (埋設物・構造物・雑草)	雑草等ある場合は事前に手鎌で処置する	手鎌で手を切る	△	×	△×	4	安	作業時は切創手袋を着用する。
既存排水溝撤去	周辺安全確認								
	排水溝撤去作業	排水溝運搬時	排水溝を足に落とす	△	△	△△	3		運搬時は2名以上で運搬する
			法面から滑落する	×	×	××	5		必要に応じ親綱、安全帯の使用 また、法肩付近での作業をしない
荷下ろし (責任者、作業員、保安員)	橋梁上から移動クレーンにて資材等を下ろす	通行車両注意	適切な合図を行う	×	×	××	5		
		ユニックのアウトリガーの最大張り出し	定格荷重以下での作業	×	×	××	5		
		資材等を構造物につける	介錯ロープ等を使用し荷下ろし作業を行う	×	×	××	5		
集水ますの基礎作成 (責任者、作業員、保安員)	集水ますの基礎を作るため、木材を切り出し、型枠を作成する	手元注意	のこぎり等で手を損傷する。	△	△	△△	3		無理な体制で作業しない、切創手袋を装着する。
	型枠固定箇所をハンマードリルで脚孔し、鉄筋を差し込み型枠を固定する。	手元注意	石頭ハンマーで手を打つ	△	△	△△	3		無理な体制で作業しない、保護手袋を装着する。
	急結セメント、モルタルを使用し、基礎を打設する	周囲確認	セメントが目や肺に入る	△	△	△△	3		保護マスク、保護メガネを着用する。
集水ますの作成 (責任者、作業員、保安員)	コンクリートブロックをコンクリートカッターを使用し適切な形に整える	手元注意、周囲確認	コンクリートカッター等で手を損傷する。	△	×	△△	4		無理な体制で作業しない、保護手袋を装着する。
	基礎の上にコンクリートブロックを並べますを作成する。	手元注意	コンクリートブロックを足に落とす	△	×	△△	4		無理をせず一個ずつ、設置する。
既存排水溝再設置	周辺安全確認								
	排水溝再設置作業	排水溝運搬時	排水溝を足に落とす	△	△	△△	3		運搬時は2名以上で運搬する
			法面から滑落する	×	×	××	5		必要に応じ親綱、安全帯の使用 また、法肩付近での作業をしない
後片付け (責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							工事車両を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事